

災害と教育・福祉

地震による災害や水害など、いつ起こるかわからない自然災害。大規模な災害が生じれば、子ども、障がい児・者、高齢者、外国人、貧困問題を抱える人など、社会的に弱者と言われる人々はとくに、困難に直面します。この連続講演会では、そのような事態に備えて、日頃から理解し、備えておかなければならないことについて考えてみたいと思います。他地域で災害を体験されたり、教育・福祉的な側面から、社会的弱者に対するサポート活動や研究、コミュニティづくりにご尽力されている方々のお話をお聞きます。

第1回

9月23日(金)
9:30~12:00
多目的ホール
定員100名

東日本大震災から学んだ心理社会的支援

子どもと高齢者への支援

上山 真知子 (山形大学)

外国人への支援

J.F. モリス (宮城学院女子大学)

第2回

10月21日(金)
10:30~12:00
サテライトキャンパス
定員60名

平時と災害時における弱者の支援

子どもの貧困の観点から

阿部 彩 (首都大学東京)

第3回

11月16日(水)
13:00~14:30
多目的ホール
定員100名

命を守るために

東日本大震災を経て学んだこと

櫻井 広行 (ゆりあげ港朝市協同
組合代表理事)

場所：愛知県立大学 (長久手キャンパス) 学術文化交流センター・多目的ホール
愛知県立大学 サテライトキャンパス (名駅 ウィンクあいち15階)

お問い合わせ・申し込み先
愛知県立大学 生涯発達研究所

Eメール: hattatsu@ews.aichi-pu.ac.jp
(氏名、所属、参加希望日、連絡先電話をご記入のうえ、お申し込みください。参加費無料です。定員に達し次第、締め切らせていただきます。)

〒480-1198
愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3

※本講演会の一部は、日本学術振興会
科学研究費の助成を受けています。

共催：愛知県立大学地域連携センター